



滑り出し 感触上々

YSアリーナ八戸 整氷試験

9月29日に供用開始予定の八戸市立屋内スケート場「YSアリーナ八戸」で整氷試験が行われる。リンクに初めて張られた氷の感触を確かめる選手ら19日、八戸市立屋内スケート場「YSアリーナ」

氷試験が行われている。19日は、市内の現役選手らが試走し、「ホームリンク」の滑り心地を確かめた。スケート場は6月末に完成し、市に引き渡されている。整氷試験はリンクの床部分が零下5度となった今月10日にスタート。19日までに全面が氷に覆われた。同日は、八戸学院大や八戸西高、八学光星高などの選手約30人が初滑り。一歩一歩を踏み締めながら、リンクからの景色や氷の感触をチェックした。

八学大4年の澤尻磨里英

さんは「氷の表面がざらざらしていないくて滑りやすい。わくわくしてきた」と笑顔で話し、オープンを心待ちにしていた。試験は27日まで。以降は氷を溶かす作業を試行し、同リンクのこけら落としイベントとして来月24日に公演される音楽フェスティバル「WORLD HAPPINESS with HACHINOHE（ワールドハピネスウィズハチノヘ）」の準備に入る。

（文・金濱千優希、写真・井深裕介）